

## 《至誠 剛健 協同》

ふるさとを愛し ころ豊かで  
未来を切り拓く 香住っ子の育成

おお まつ  
**大松**



香住小学校 学校だより  
第8号  
令和7年12月4日  
香美町立香住小学校

## いよいよ2学期の締めくくり

12月に入り、校内の空気にも冬の気配が感じられるようになりました。子どもたちは、寒さの中でも元気に登校し、学習や行事に一生懸命取り組んでいます。校庭から聞こえてくる明るい声に、日々の成長を強く感じています。

2学期も残りわずかとなり、学習のまとめと次の学期につながる力を育てる時期となりました。これまでの取組を振り返り、できるようになったことを自信につなげ、課題を見つけて一歩踏み出す大切な機会にしたいと思います。今後も学校・家庭・地域が力を合わせ、子どもたちが安心して学べる環境をさらに整えていきたいと思っておりますので、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

さて、現在、全国的にインフルエンザが流行し、学校や学年閉鎖などの措置をとっている学校が多く見られます。本校におきましても、1年生を学年閉鎖、3年1組を学級閉鎖とし、感染拡大防止対策を講じました。また、11月21日に予定していました音楽会もインフルエンザの流行に伴い、3学期に延期をせざるをえない状況となりました。楽しみにしておられました保護者や地域の皆様にもご心配やご迷惑をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。現在は感染者数も落ち着き、通常の教育活動を行えるようになりました。今後も引き続き体調管理や早寝早起き、十分な栄養の確保などご協力をお願いいたします。



## 持久走大会がんばりました！

雨天により1週間延期となりましたが、11月7日に持久走大会が行われました。当日は、秋晴れて絶好の持久走大会日和となりました。児童たちは数日前から体育の授業で練習を重ね、それぞれの目標を掲げてスタートラインに立ちました。開会式で私から児童たちに、「競争に勝敗はつきものですが、自分には負けないで最後まで走り切ってほしい」ということを話しました。その話の通り、児童たちは沿道での声援をエネルギーにしなが、最後まで全力を出し切って走り切りました。走り終えた後の達成感と感動は、きっと自信につながったと思います。

保護者・地域の皆さんの温かい応援、ありがとうございました。また、コース監察として協力していただきましたPTAの皆様にも感謝いたします。ありがとうございました。

## 香住区小学校等再編に向けた事前交流会の実施

来年度の第二次再編に向け、11月27日（木）に今年度第2回目の事前交流会を実施しました。昨年度にプレ交流会を2回実施し、今年度は今回を含めて3回の交流会を実施します。今回は香住小学校の授業に、柴山小学校、長井小学校、余部小学校の児童、合計74名が参加する内容でした。昨年度からすでに3回の交流を行っていますので、児童たちは慣れたものです。久しぶりの再会でしたがすぐに打ち解けて様々な授業で交流を深めました。第3回目は1月22日に予定しています。内容は登校から下校まで、給食を含めた香住小学校での一日体験を行います。いよいよ第二次再編としての新生香住小学校の船出の準備は佳境を迎えます。子ども達が安心して香住小学校で生活できるよう、万全の準備をしていきたいと思っております。

## 全国学力・学習状況調査の結果について②

前号に引き続き、4月17日に6年生を対象に実施した、本年度の全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。今回は「児童質問紙」（生活習慣や学校生活についての質問）です。

【児童質問紙】

### 《良好な項目》

- ・朝食、起床、就寝のリズムが整っている
- ・将来の夢がある、自分に良いところがある、人の役に立ちたいなど自己肯定感が高い
- ・学校は楽しい、普段幸せ、友だち関係に満足しているなど学校生活全般の満足度が高い。
- ・読書が好きと回答した児童が多い。

### 《改善すべき項目》

- ・家庭での読書率が全国平均に比べて低い
- ・普段の家庭学習時間が1時間未満の児童が約4割。
- ・学校が楽しくない、友だち関係に不満足と回答した児童が数名いる。
- ・普段新聞を読まない児童が全国平均を大きく上回る。

基本的な生活習慣が確立している児童が多いのに対して、数名は起床や就寝時間が不規則で、朝食を食べない児童がいることが気になります。さらに近年、個人のスマホやゲーム機を所持する児童が増加傾向にあり、家庭学習の時間にも影響している状況が顕著に表れるようになりました。使用時間も含めて家庭でのルールを守るよう、基本的な生活習慣と併せて指導をお願いします。また、自分に良いところがあると感じている児童が多く、自己肯定感の高さがうかがえます。引き続き、異学年での交流や体験活動などに取り組んでいきたいと思えます。一方、改善すべき点として、家庭での読書習慣が挙げられます。本調査では「読書が好き」に加えて家庭の蔵書数が全国平均を上回っているにも関わらず、家庭で読書に親しむ児童が少ない傾向にあります。これは前述のスマホやゲームの使用時間にも関わるものでもであると推測できます。今後、学校では図書ボランティアさんと連携しながら各種読書イベントの開催や「家(うち)どく」等の取組を通して、本に親しむ機会を増やしたいと思えます。また、全国平均と比較して少ない人数ではありますが、学校が楽しくない、友だち関係に不満足と回答した児童が数名いるのが気になります。児童が安心して学校生活をおくるためにも、児童の表情や言動について、気になるようなことがあれば積極的に声をかけ、必要に応じて教育相談などを行います。ご家庭でも児童の様子で気になるようなことがあれば、学校へご相談ください。

### ●今後の取組の方向性●

#### 【学習】

- ・学習基盤である読書活動の推進
- ・話し合い活動の充実
- ・根拠をもとに説明する表現活動の充実
- ・自然科学にふれる探検活動の実施
- ・タブレット等 ICT 機器を活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- ・家庭学習確かめ週間による家庭学習の充実
- ・計算力向上月間による計算力の定着

#### 【生活】

- ・学期初めの教育相談週間の設定や日々の関わりによる児童理解を進める
- ・情報モラル教育の推進と保護者との連携
- ・家庭学習確かめ週間による学習習慣の定着
- ・タブレット端末持ち帰りによる家庭学習の推進
- ・ICT機器の積極的な活用
- ・図書ボランティアとの連携による読書活動の更なる推進

## 本の紹介 ～家読にいかがですか～



合言葉はフレンドル！

講談社 アンドリュー・クレメンツ 作

田中奈津子 訳

作者のデビュー作が世界12か国に翻訳されて、ついに新しい表紙になりました。小学校4年生以上に習う漢字には、ふりがながついています。舞台は、アメリカの小学校ですが、いろいろな新しい言葉や流行している言葉が生まれている、今読みたい良書です！